

日測協発第 296 号
令和 2 年 3 月 31 日

各 位

(公社) 日本作業環境測定協会
会 長 櫻井 治彦



第 1 4 回 石綿分析技術評価事業の実施のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、公益社団法人日本作業環境測定協会では、作業環境測定機関等において石綿分析を担当されている方を対象に、石綿分析技術の精度向上等を目的として「建材など固体中の石綿（カテゴリー 1）」と「空気中に浮遊する石綿（カテゴリー 2）」の二つのカテゴリーに分けて石綿分析技術評価事業（以下「評価事業」と略。）を実施しております。

カテゴリー 1 については、評価の区分を 3 つに分け（評価区分 1～3）、またカテゴリー 2 については 1 種類の区分（評価区分 4）について、それぞれ分析技術の評価を実施しております。つきましては別添実施要領のとおり実施いたしますので、ご案内申し上げます。

また、第 13 回評価事業（令和元年度（2019 年度））より、下記のとおり実施方法を変更しておりますのでご留意のうえお申し込みください。

敬具

記

	変更前（従来の方法）	変更後（第 13 回以降の方法）
配付試料	参加者は、参加申し込みの際、分析する試料について A、B、C のいずれかのランクを選択	参加者にはすべて同じ難易度の試料を配付
合否の決定方法	A～C のランク別に合否を決定する	あらかじめ設定した基準により、協会が①合否及び②合格の場合はそのランク（A～C）を決定する （※評価区分 1,2 については①の合否判定のみとなります。）

以上

石綿分析技術評価事業（旧称：石綿分析に係るクロスチェック事業）
認定証をお持ちの方へ（必ずご確認ください。）

今回、当事業にご参加いただく方は、下記にご留意下さい。

記

1. ①平成29年度（2017年度）に実施した第11回石綿分析技術評価事業にてAランク認定（有効期間3年間）を受けた方（有効期間が2020年8月31日まで）
②平成30年度（2018年度）に実施した第12回石綿分析技術評価事業にてA～Cランク認定（有効期間2年間）を受けた方（有効期間が2020年8月31日まで）
→ 有効期限が切れます。再度、認定を希望する方は、忘れずにご参加下さい。

2. 令和元年度（2019年度）に実施した第13回 石綿分析技術評価事業にてAランク、Bランク又はCランクに認定された方（有効期間が2021年8月31日まで）
→ 次回まで有効期限が残っています。今回も参加可能ですが、参加者がランクを選択の上参加することは出来なくなりましたのでご注意ください。なお、参加結果によっては現在保有されているランクからランクが変わる場合があります。

以上

※ご不明な点は、以下の担当部署までご連絡下さい。

(公社)日本作業環境測定協会 研修センター
〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田労働基準協会ビル6階
TEL: 03-3456-1601 Fax: 03-3456-5854

第14回 石綿分析技術評価事業の実施要領

令和2年3月

公益社団法人 日本作業環境測定協会

1 総則

この要領は、石綿分析技術評価事業に関し、その実施に必要な事項を定めるものです。

本事業は、石綿障害予防規則その他の関係法令等の定めによるほか、この要領に従って実施し、ここに定めのない事項については、公益社団法人日本作業環境測定協会(以下「協会」と略)会長が決定することと致します。

2 事業の目的

わが国では、今後、建築物の解体等により発生する石綿による健康障害リスクが増大すると予測されています。

そのような状況の中で、労働者及び公衆の石綿による健康障害の発生を予防するためには、「建築物及び工作物等の石綿含有の有無及び程度を判定する分析技術」及び「作業環境及び大気中に飛散する石綿を採取して計数を行う技術」が必要であるため、本事業は、石綿の分析に携わる方及びこれから携わる予定の方を対象に、建材中の石綿の分析技術及び石綿繊維の計数技術のレベルを客観的に評価し、及びその向上を図ることを目的として実施するものです。

3 事業の概要

石綿（アスベスト）分析の技術精度について評価・認定を行います。「建材など固体中の石綿」（カテゴリー1）と「空気中に浮遊する石綿（カテゴリー2）」の2つのカテゴリー別に実施しており、カテゴリーのいずれか又は両方のカテゴリーにご参加いただけます。

4 参加対象者

石綿の分析に従事している方又はこれから従事する予定の方。

5 「カテゴリー1」（評価区分1～3）の実施内容

○カテゴリー1は建材等に石綿が含まれているか、また含まれている場合はどの種類の石綿であり、どのくらいの割合（%）で含まれているかについての分析技術の評価・認定を配付試料を用いて行います。また、建材製品中のアスベ

スト含有率測定方法を定めた J I S の分類に合わせて**表 1** の評価区分 1～3 の三分区について評価及び認定を行います。

記

- ①表 1 のとおり、前回第 13 回事業から、試験結果の判定につきまして、評価区分 1 及び 2 はランク認定を行わず、合否のみ判定しております。
また、評価区分 3 は、合否判定後、合格者については A～C のどのランクであるかについて認定を行います。
そのため、参加者は参加する評価区分のみを選択し、ランクの選択は不要です。
(全区分選択も可)
- ②協会は、申し込みのあった区分の固体試料(どの評価区分も配付試料は 3 個)を配付します。
- ③参加者は、固体試料受領後、実施要領を参照のうえ、分析を実施しその結果を指定用紙に記入のうえ、協会に指定期日までに提出します。
- ④協会は、提出された結果について評価区分 1 及び 2 については合否の判定を行います。また、評価区分 3 についてはまず合否判定を行い、合格の場合はそのランク(A～C ランク)の判定を行います。
- ⑤試験結果は、参加者へ文書により通知いたします。本試験の結果が B 又は C ランク及び不合格の方には再試験の機会を設けております。(※但し、再試験を受験される場合、最終判定は再試験の結果のみで行いますので、本試験より結果が良くなる場合、変わらない場合及び悪くなる場合のいずれの可能性もありえます。)
- ⑥合格の有効期間はどの区分も 2 年間(有効期間の始期及び終期は結果通知文書に明記いたします)です。
また、例えば A ランクに認定された場合は、その有効期間中は「A ランク認定者」の呼称を用いる場合があります。(B、C ランクも同様)
なお、第 12 回事業より、全ランク共通で合格有効期間を 2 年間に変更しておりますので、ご注意ください。
- ⑦合格の場合は、合意が得られた方につきましては、当協会ウェブサイトにて氏名とご所属先を掲載いたします。
- ⑧固体試料の調製及び参加者からご提出いただいた分析結果の判定等は、会長の諮問機関として設置する専門家委員会(学識経験者等で構成)の議を経て会長が決定することにより、公平公正を確保いたします。

表1 「カテゴリー1」の評価区分と参加者の実施事項

カテゴリー1の評価区分			指定する方法※
区分	試験結果の判定等	試験内容	
評価区分1	合格	固体試料について、「実体顕微鏡及び偏光顕微鏡（任意で電子顕微鏡）」を用いて「石綿が含まれているかの確認および含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」といいます。）	JIS A 1481-1 (による方法)
	不合格		
評価区分2	合格	固体試料について、「位相差・分散顕微鏡とエックス線回折装置」を用いて「石綿が含まれているかの確認および含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」といいます。）	JIS A 1481-2 (による方法)
	不合格		
評価区分3	Aランク	固体試料について、「位相差・分散顕微鏡とエックス線回折装置」を用いて「石綿が含まれているかの確認および含まれている場合は石綿の種類判別」（「定性分析」）並びに「石綿の含有率（何%含まれているか）の決定」（「定量分析」といいます。）	JIS A 1481-2 と JIS A 1481-3 (を合わせて用いる)
	Bランク		
	Cランク		
	不合格		

※JISでは、この他新たに平成28年3月22日に第4部（JIS A 1481-4）：「質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法」が加わっておりますが、今回は、本法に係る技術評価は含みません。

6 「カテゴリー2」の実施内容

- カテゴリー2は顕微鏡「プレパラート」の石綿繊維の本数を正確に数える（係数といいます）技術の評価・認定を配付試料を用いて行います。石綿繊維の計数の方法は、「作業環境測定ガイドブック 1」（当協会編集）や環境省編の「石綿飛散防止対策マニュアル」、またはJIS K 3850-1「空气中の繊維状粒子測定方法-第1部」に規定する方法を用いることとしております。（表2参照）
- 計数対象とする石綿繊維は、長さ5 μm以上、幅3 μm未満、アスペクト比（長さとの幅の比）が3以上のものとしています。
- 試料は、当協会が提供する位相差顕微鏡用プレパラートを使用。
- 参加者は、試料を受け取った後、試料に添付する説明書を参照の上、それぞれ

れが保有する機器（位相差顕微鏡）により計数分析を実施し、その結果を指定の用紙に記入して協会に返送していただきます。

- 協会は、返送された結果を、予め設定した合否の基準を用いて、合否及び合格の場合はA～Cのいずれのランクであるかを判定します。
 - プレパラート試料の調製、計数標準値の決定及び返送いただいた分析結果の判定等については、会長の諮問機関として設置する専門家委員会（学識経験者等で構成）の議を経て会長が決定することにより、公平公正を確保いたします。
 - 参加結果は、各参加者に文書で通知いたします。また合格者の氏名とご所属を当協会ウェブサイト公表いたします（※合意が得られた方のみ）。なお、本試験の結果がB又はCランク及び不合格の方は再試験の機会を設けております。（※但し、再試験を受験される場合、最終判定は再試験の結果のみで行いますので、本試験より結果が良くなる場合、変わらない場合及び悪くなる場合のいずれの可能性もありえます。）
 - 合格についてはその有効期間を設けておりA, B, Cランクいずれも2年間（具体的な有効期間の始まる日と終了する日は結果通知文書に明記いたします。）です。また、試験結果により例えばAランクに認定され、その有効期間内にある者には「Aランク認定者」の呼称を用いる場合があります。
- ※第12回事業より全ランク共通で有効期間を2年間に変更しております。

表2 「カテゴリー2」の参加者の実施事項

区分	試験結果の判定等	試験内容	指定する方法
評価区分4	Aランク	配付されたプレパラートについて、石綿の繊維の本数を位相差顕微鏡を用いて数える。	作業環境測定ガイドブック1（当協会編集）等の方法
	Bランク		
	Cランク		
	不合格		

7 事業の参加方法及び実施スケジュール

7-1 参加方法

本事業の参加方法は以下のとおりです。

- 参加を希望される評価区分を選択し、必要事項をご記入のうえ参加申込書をご郵送ください。

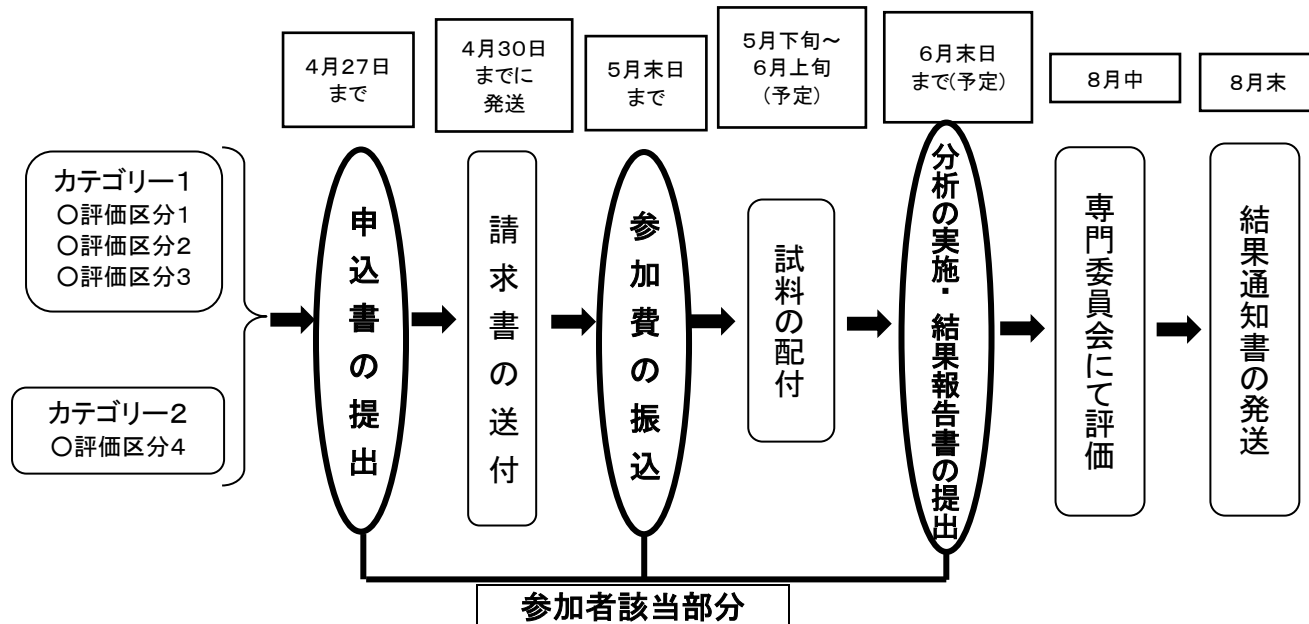
(※第12回事業まではお申込みの時点で、A,B,Cランクのうちいずれかを選択し、お申し込み頂いておりましたが、第13回事業より評価方法を変更したため、ランクごとの申込ではなく、評価区分1～4から区分を指定する方法に変更となりましたのでご注意ください。)

7-2 実施スケジュール

事業の実施スケジュールは以下のとおりです。(図1参照)

なお、これらの実施予定期日に変更があった場合には、当協会ウェブサイトに掲載いたしますのでご確認ください。

- (1) 参加申込書の提出期間 (参加者) 令和2年4月1日
～ 令和2年4月27日 (消印有効)
 ※お申し込みは郵送のみとなります。
 - (2) 請求書の送付 (協会) 令和2年4月30日までに発送
 - (3) 試料送付 (協会) 令和2年5月下旬～6月上旬 (予定)
 - (4) 分析結果報告書の提出 (参加者) 令和2年6月末日 (予定)
 - (5) 判定結果の通知 (協会) 令和2年8月末日
- (各参加者宛に送付)



※参加者に行っていただく部分は、楕円の箇所、その他は当協会が行う手続きです。

図1 実施スケジュールの流れ

※第13回事業より、評価区分4については、ラウンドロビン法にて試験を実施しており、試料の配付は第1期～第3期(申し込み多数の場合第4期まで)に

分けて送付いたします。試料の発送予定日はお申込み受付期間が終了次第ご案内致します。

そのため、結果報告書の提出期限も第1期～第3期で異なりますので、十分ご注意ください。なお、1期当たりの分析期間は2週間を予定しております。

8 参加費について

参加費は、**表3**のとおりです。

参加費は、当協会が参加申込書を受領した後、請求書を郵送いたしますので、指定期日までにお振込みください。

なお、申込みの状況に応じて試料を調製いたしますので、申し込み後にキャンセルする場合は、原則として返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

表3 参加費

	<u>協会の法人正会員</u>	<u>非会員</u>
評価区分1～4	参加者1名につき 45,000円(税込)	参加者1名につき 80,000円(税込)

9 参加申込方法

お申込みは、別添「第14回 石綿分析技術評価事業参加申込書」に必要事項を記入のうえ、郵送願います。個人情報保護の観点から原則として郵送でお願い致します。申込締切日は、令和2年4月27日(月)消印有効といたします。申込書を協会が受理した後、FAXにて受付処理が完了した旨の書類を送信致しますので、お申込書を郵送後一週間経過しても申込書受領の返信が事務局よりない場合は、お手数ですが、事務局までお問い合わせください。

【送付先】

〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田労働基準協会ビル6階
(公社) 日本作業環境測定協会 研修センター宛

10 個人情報保護について

申込みに際してご提供いただいた個人情報は、個人情報保護に関する法令お

よびその他の規範を遵守し、適切に取り扱います。

また、この事業の運営のために使用いたしますが、他に当協会が行うセミナーの案内、各種情報の提供等に利用させていただくことがあります。

個人情報のような利用に同意されない場合は、参加申込書で意思表示をお願いいたします。

ご不明な点は、以下にお問い合わせ下さい。

「本件担当事務局（連絡先）」

(公社)日本作業環境測定協会 研修センター

〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田労働基準協会ビル6階

Tel : 03-3456-1601 Fax : 03-3456-5854

※日測協記入欄 受付印	
----------------	--

(公社) 日本作業環境測定協会
研修センター 行

以下の内容にて受付をいたしました。
日本作業環境測定協会 研修センター

第14回 石綿分析技術評価事業 参加申込書(その1)

分析機関等の名称											
所在地	〒		都道		市区						
			府県		郡						
電話					FAX						
フリガナ					部課名						
申込代表者氏名 ※1											
日測協(法人)正会員	法人正会員 ・ 非会員				日測協(法人)会員番号※2						
請求書宛先 (請求書宛名が「分析機関等の名称」と異なる場合は、ご記入下さい。)	宛名：										
ご記入いただいた個人情報につきましては、この事業の運営のために使用いたしますが、他に当協会が行うセミナーの案内、各種情報の提供等に利用させていただくことがあります。個人情報のこのような利用に同意されない場合は、右の口にチェックマーク☑をご記入下さい。 同意しない☐											
備考											

《申込みに関しての注意事項》

※1：申込代表者とは、複数の方が参加した際の連絡代表者となります。

※2：日測協の法人正会員は、会員番号を記入して下さい。

第14回 石綿分析技術評価事業 参加申込書 (その2)

参加者 氏名 (記載例)	◆参加欄につきましては、ご希望の評価区分(1~4)を○で囲んで下さい。不参加の場合は、 恐縮ですが該当部分の「不参加」を残らず○で囲んで下さい。			
	建材試料分析技術用の試料			計数分析技術用の試料
	【評価区分1】 (JIS A 1481-1に定 める方法による石 綿含有の有無の判 定)の試料	【評価区分2】 (JIS A 1481-2に 定める方法による 石綿含有の有無の 判定)の試料	【評価区分3】 (JIS A 1481-2及び JIS A 1481-3に定める 方法による石綿含有の 有無の判定及び石綿の 含有率の定量)の試料	【評価区分4】 (石綿繊維計数)のプレ パラート試料)
	参加の有無	参加の有無	参加の有無	参加の有無
(記載例) 山田 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 参加 ・ 不参加	参加 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不参加	参加 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 不参加	<input checked="" type="checkbox"/> 参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加
	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加

注意事項: 参加者の氏名に対応した試料を送付しますので、必ず参加者の氏名をご記入下さい。なお、本申込書を送信後、参加者を変更する場合には速やかに事務局宛ご連絡下さい。また、記入欄が足りない場合は、「その2」の用紙を印刷して使用して下さい。